



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)

2022/02/09

あっさり黙示録

#1 『黙示録こそ聖書全巻の結論』

黙示録 1 章

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏

お元気ですか。高原剛一郎です。今日から、〈黙示録の艱難時代〉の部分をご一緒に学んでいきたいと考えています。『ごうちゃんねる』では簡潔な短い動画をアップするのが 1 つのモットーになっているので、あんまり詳しい黙示録の解説はできません。ワンポイントだけという形になると思います。なので、このシリーズは『ごうちゃんねるの あっさり黙示録』ということで、皆さんと共に考えていく機会を持ちたいと思います。

既に黙示録を何度も学んでおられる方々には、物足りない内容になることでしょうか。もう少し詳しく知りたいと望まれるなら、別に『ざっくり黙示録』という動画をアップしていますので、どうぞご覧になってください。

今日は黙示録の概要について 1 章から紹介します。黙示録は新約聖書 27 巻の最後、旧・新約聖書 66 巻の一番最後、聖書の結論に当たります。新約聖書の中で、特に艱難時代について詳しい預言を語っている、終末預言について多くのページを割いて語ってくれている預言書です。

キリストの 12 弟子の 1 人 ヨハネがこれを書き記しました。彼はどんな状況で書いたのでしょうか。1 世紀の終わりにこれを書くのですが、当時のローマ皇帝はドミティアヌスです。彼のお兄さんは皇帝ティトス。ティトスこそが、ユダヤ戦争でエルサレム炎上の最後のとどめを刺したティトゥス将軍です。やがて彼は皇帝になり、名君として非常に活躍しますが、皇帝になって 2 年くらいで過労のために死んでしまいました。

その後を継いだのが弟のドミティアヌスですが、彼は器ではありませんでした。はっきり言って、非常に猜疑心が強く、常に、自分は誰かに狙われているのではないか。暗殺されるのではないか。それで、味方や部下を片っ端から疑いを掛けて粛清し、彼らの財産をふんだくって国庫に放り込む。そんなことをしたのでどんどん孤独になり、最終的には風呂に入っている時に暗殺されてしまいます。

彼は 15 年間皇帝でしたが、その間どんなに粛清しても、中々安心感を得ることができなかったんですね。そこで、こう考えたようです。「神になろう。神になったら、神を暗殺しようなんて、そんな恐れ多い考えを持つ奴はおらんだろう。」それで、自らを神と名乗るようになり、自分が治めている間に発行したコインに刻印を打ちました。「ドミティアヌス／神の属性を持つ人」人間の分際であるにもかかわらず、自らを神と名乗り、ローマ中の人々に「私を神として拝め」と命令を出したのです。

ところが、その命令に最後まで従わないグループが 2 つありました。
◆ユダヤ人。ユダヤ人は この世界を造った創造主以外は拝みません。
◆初代教会／クリスチャンたち。クリスチャンたちも創造主なる神、そして、この神が人として来られた救い主イエス・キリスト以外拝まない。ヨハネは、何があっても、キリスト以外を神として拝まないクリスチャンたちのリーダー／使徒でした。それで島流しに遭ったのです。

その時のことをヨハネの黙示録にはこう書いてあります。

黙示録 1 章 9 節

私ヨハネは、あなたがたの兄弟で、あなたがたとともにイエスにある苦難と御国と忍耐にあずかっている者であり、神のことばとイエスの証しのゆえに、パトモスという島にいた。

ここにはっきりと書いてありましたね。神のことばとイエスの証しのゆえに、本来流されなくてもいいパトモスという島に島流しされていた。

この時、ヨハネは恐らく 80 歳を超えていて、西暦では AD95 年くらいのことだと推測されています。

島流しの苦難の生活の中で、神がイエス・キリストを通し、御使いを通して、黙示録という預言を彼に授けたのです。なぜなら、イエスのゆえに苦難を受けている人たちが、神の人類救済プランのゴールはどこなのかを明確に知ることができるなら、必ず励ましを受けることになるかと分かっていたからです。

ところで、昔読んだ本にこんな話がありました。日本人親子の話です。お父さんとお母さんと幼い少年。お父さんの仕事の都合で数年間、ヨーロッパの北の方のエリア、確かドイツに移住することになりました。少年は大変なおばあちゃん子で、特におばあちゃんが読み聞かせてくれる昔話が大好きでした。特にお気に入り『かちかち山』。皆さんもこのお話はご存知かと思います。

ある所に、おじいさんとおばあさんがいました。2 人とも一生懸命畑を耕して生活していました。ところが、そこに悪いタヌキがおりまして、作物を掘り返したり、様々な悪さをして色んな迷惑をかけ、人々を苦しめてたんです。

おじいさんはこのタヌキを罠に掛けることに成功し、おばあさんに言いました。「今から山菜を取りに行ってくるから、その間にこのタヌキを絞めて（殺して）、味噌鍋に入れて狸汁を作っといてくれ。山菜を放り込んだら旨くなるからな。」

おじいさんが山へ行ったのを見届けると、籠の中のタヌキが涙の懇願をするんです。

「おばあさん、赦してください。もう二度と悪い事しません。今回だけは見逃してください。これからはおじいさん、おばあさんのお手伝いをします。」もう涙をボロボロ流して「ごめんなさい。ごめんなさい。」泣き落とし。一生懸命それを訴える。おばあさんは聞いているうちに段々かわいそうになって、つい気を許し、籠からタヌキを放ってしまいました。自由になるや否や、タヌキは杵を持って おばあさんに殴りかかって撲殺。おばあさんの皮を剥ぎ、肉を削ぎ、ミンチにして味噌鍋に入れるんです。

さて、何も知らないおじいさんが山から帰って来ました。「おお、ばあさんや、いい匂いがするのう。」

「ええ。狸汁出来てますよ。さあ、召し上がってください。」「じゃあ、山菜を入れて…。」タヌキがおばあさんに変身しているのも知らず、おじいさんは「旨い、旨い」と言って鍋を平らげました。それを見届けると、タヌキが「おい！」と言って元の姿に戻り、「おまえは自分の妻を食ったんだ。この人でなし野郎！」嘲り笑いながら山に逃げて行くのですが、おじいさんの足ではとても追いつけなかった。

おじいさんは悔しくて悔しくてたまらない。なんて事をするんだ…。しかし、自分には復讐する力がない。そこで、友達のウサギに相談すると「私に任してください。」

ウサギはタヌキと一緒に山に行き、タヌキの背中に薪を背負わせて、後ろから火打石でカチカチ、カチカチと火を点けて、背中に大火傷を負わせます。このカチカチが『かちかち山』ですよ。

次に、薬売りに変装したウサギが、どんな火傷もこれ塗ったらいつペんに治る、というニセ薬をタヌキに売りつけるんです。それは、味噌の中にとんがらしを混ぜ込んだ物でした。

タヌキはそれを塗ると、痛みあまり七転八倒 転げ回るんですね。

そして、タヌキの食い意地に目を付け、癒された頃を見計らって「魚が大量に取れる川に行こう。」
そこで泥舟に乗せて溺死させる。という話です。
日本の昔話ってね、エグイね。凄まじい話ですよ。

それをおばあちゃんが少年に、情景が浮かぶように情感たっぷりに話して、彼はその話が大好きで、「ドイツにその本を持って行きたいから譲って。」 それを持ってドイツに行き、日本が恋しくなるとその本を読んでいたのですが、段々情緒不安定になって来た。適応障害の症状が現れて来た。どうも情動がおかしい。情緒がおかしい。それで、児童精神科のドクターに診てもらいました。

「どんな生活をしていますか？ 何で遊んでいますか？ 何を見えていますか？ 読んでいますか？ 触れていますか？ 全部持って来てください。」 その中に、ボロボロになった『かちかち山』がありました。そして、驚くべきことが分かったんですね。なんとそれは『かちかち山』ではあったのですが、読み過ぎて、途中でページがバッサリ抜け落ちていたんです。どの部分から抜け落ちていたんでしょうか。“タヌキがおじいさんを嘲笑いながら山へ帰って行く” ところで話が終わってたんです。

少年は、“どんなに酷い悪があっても、正義は最後に勝つ” というストーリーだからこそ、この話が好きだったのです。ところが、読み過ぎてページがどこかに行ってしまうと、“正義は踏みにじられたまま、悪は勝ち誇り、最後まで悪が繁栄して終わる” という話に変わってたんですね。これが少年を情緒不安定にしていた原因になったという話です。

ヨハネが生きていた時代は、イエス・キリストを信じて、やることなすこと全部上手く行く。出世して裕福になって、世間的にも認められ、地上的にも幸せになって…。そうではなかったんです。キリストを信じて却って当局に目を付けられ、マークされ、迫害され、将来を棒に振らなければならない。一家離散を覚悟しなければならない。ある場合は、殉教を覚悟しなければならない。いわば、悪がいつまでも勝ち誇り続けるように見える時代だったんですね。『かちかち山』のラストシーンが抜け落ちている本を読み続けているような心境にならざるを得ないような状況。そのような時に**黙示録**が与えられたのです。

黙示録の中には、この世界を支配している悪魔の最期がどのようなものかがハッキリ書いてあります。そればかりか、この世界はムチャクチャな世界で終わるのではなく、究極的には千年王国、そしてもっと究極的には新天新地に向かっている。それは、未だかつて存在したことのない 神の理想が完全に実現し、そして人間の心を完全に満たして余りある至福の世界。「ゴールはそこなんだよ。それまで忍耐して、互いに励まし合って、前進しようではありませんか」というエールを送っている書物が黙示録なんです。

さて、これから黙示録の艱難時代の部分に特化して、あっさりワンポイントずつ解説して行きたいと思っておりますので、よろしければお付き合いください。もしよろしければ、チャンネル登録もお願いします。また このチャンネルでお目にかかることを楽しみにしております。それでは皆さん、お元気で。さよなら！

☆使用した聖書は「聖書 新改訳 2017」です。